

# 駅・売店の仲間を直ちに原職に戻せ！

## 日刊 勤労千葉

87. 9. 11  
No. 2652

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

すべての組合員のみなさん！  
 駅や売店への強制配転の第一次発令より四カ月が経とうとしている。当局は、営業の仲間72名の切実な要求である「いつ原職へ戻れるのか」ということを全く無視し続け、団交すら行わない不当労働行為に終始しているのである。こうした状況にもかかわらず、くつや服装まで規制する当局に対し、働きやすいスニーカーで仕事をし、ネクタイピン着用などの抵抗闘争を貫徹し、歯をくいしばりたたかいていっている72名の仲間を守りぬき、原職奪還を全力でもぎとるために全組合員の総決起を訴えます。

当局の悪質なイヤガラセを粉碎し、  
 勤労千葉の旗を守る

72名の仲間は、無権利状態を強制されている営業で抵抗・抗議行動を闘いぬいている。  
 ○ A 駅―「昼休みの外食はだめ」という駅長に抗議し、「そんなことは言っていない」と撤回をちとる。  
 ○ B 駅・C 駅―「明けの引き継ぎは勤務時間外でも当り前」とする当局に、当該組合員を先頭に本部とともに抗議、所定時間の勤務開放をかちとる。

○ D 駅―小集団活動の「リーダー」をやっているマル生分子に「小集団の名簿」を見せられた組合員がすでに自分の名前が入っていることに抗議し、撤回させる。  
 ○ 売店―E 駅ミルクスタンドに配転させられた2名が「通勤できる勤務時間」を要求したら、三カ月間を運行部の地下室にとじこめるイヤガラセを許さず元気で闘いぬいている。  
 また、運転関係の助役が酔った勢いで、F 駅ではネクタイピンを強奪、G 駅では改札の詰所まで入ってきて「勤務態度が悪い」などのイヤガラセを打ち破りたたかっている。

解雇者、清算事業団、駅・売店、  
 貨車解体、現場を貫ぬく強固な団結を

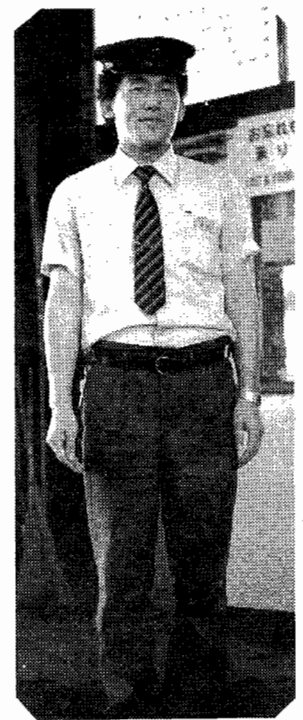
われわれは、徹底的にたたかいてくことを通し、生活と権利、職場と仲間、団結と組織を守りぬいてきた。だからこそ現在があるのである。新会社移行後の当局、経営側の人を人とも思わぬような数々の不当労働行為、出向・配転などの首切り・組合つぶしは、とうていガマンできないところにかけている。いまこそ、スト権確立の力を先頭に反転攻勢へとうつてよう！ 駅当局、現場当局と徹底対決し、原職奪還をかちとろう！  
 72名の仲間を守りぬくために現場の仲間は全力で奮闘しよう。



関君、岩瀬君（津田沼）、小岩君の売店。



斉藤君（幕張）錦糸町駅



鈴木君（館山）木更津駅



川名君（館山）木更津駅



赤羽根君（勝浦）君津駅  
吉野君（立川）勝浦）鴨川駅



小守君（勝浦）千葉駅  
平沼君（鉾子）成田駅



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！